

[スピード公開時代] 「成功モデル」を読む

ネットは終了、実需型ベンチャーで勝負せよ

日本テクノロジーベンチャーパートナーズ投資事業組合(NTVP)・村口和孝代表

ベンチャー市場ができた直後、ネットバブル崩壊に見舞われたわけですが、結果的にこの経験は非常に良かったと思いますよ。ホンモノとニセモノが市場で選別されたわけですから。今、そのバブル崩壊の教訓をベンチャーもキャピタルも学んでいる真っ最中なんです。そこではっきりしたのは、単純なウェブサービス型ビジネスはもう終わ

った、ということです。アメリカでも激しい再編淘汰が起こっていますよね。

それじゃ、次のテーマは何か。ズバリいうと、市場はバイオ（生命工学）やヒトゲノム（遺伝子）に関心が移っているんですよ。ネットの世界ならばインフラ寄りの技術。それもしっかりしたコア技術を持ったサービス型です。単なるドットコムベンチャーではダメ。それとマザーズ、ナスダックができ、技術力の高いハイテク系ベンチャーは断然有利でしょうね。今年上場したハイテクベンチャーは、株価も高くマーケットから評価されています。

それとネット技術をうまく取り入れたサービス型ベンチャーも、今後の成功モデルと言えるでしょうね。商売のベースはしっかり売り上げが立つ市場に置き、ネットをインフラとしてどう使いこなすか、そこが成功のポイントでしょう。そして大事なことは、経営者たちが背水の陣で挑んでいるかです。われわれが最も重視するのはその一点なんです。



PROFILE

【むらぐち・かずたか】徳島県生まれ。1984年、慶応義塾大学卒。ベンチャーキャピタル最大手ジャフコのトップキャピタリストを経て98年、独立系キャピタルのNTVP設立。技術力の高いスタートアップ期のベンチャーに投資する。自ら社外取締役で経営参画するハンズ・オン型の代表キャピタリスト。投資先はナスダックに上場したデジタル画像システム開発のイメージワンやソフト開発のインフォテリア、ネットオークション運営のディー・エヌ・エーなど16社。☎03-3815-8641、<http://www.ntvp.com>